令和8年度

治水対策事業

大地面池調整池改築工事

仕様書

施　工　場　所　　東広島市西条町西条

東広島市

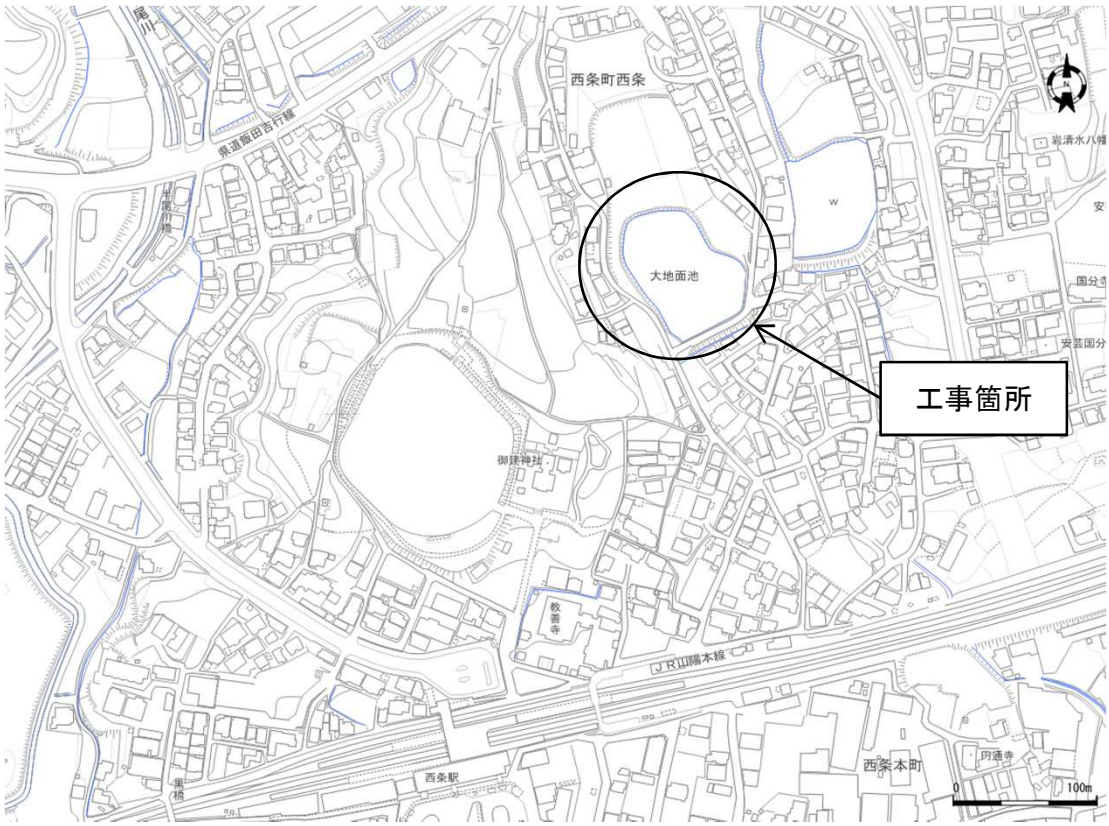
位置図

治水対策事業
大地面池調整池改築工事

広域図



詳細図



特　記　仕　様　書

（大地面池調整池改築工事）

第1章　総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 官公庁等への手続き等
5. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
6. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
7. 法定外の労災保険の付保
8. 週休２日適用工事等　週休２日
9. 建設副産物の取り扱いについて

第2章　工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等

第3章　施工条件

1. 安全対策
   (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
2. 盛土・埋戻土
   (1) 流用土(工事内流用)
3. 建設副産物
   (1) 建設発生土（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出）
   (2) コンクリート殻（無筋）(搬出)
   (3) アスファルト殻(搬出)

第4章　その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等

特　記　仕　様　書

第1章　総則

1.　適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

(1)「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-27第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。)

(2)「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。

(3)「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

(4)「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

(5)「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

(6)「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

(7)「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。

(8)「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。

(9)「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。

(10)広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。

(11)「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。

(12)「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13)その他

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。

3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

・建設工事請負代金前金払実施要領
・建設工事請負代金中間前金払実施要領
・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

1　現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

2　発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。

3　発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。

⑴ 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
⑵ 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第６号)第１条第１項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
⑶ 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
⑷ 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
⑸ 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
⑹ その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

4　重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

5. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

（１）本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
（２）工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
（３）本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
　　広島県工事中情報共有システム（一般社団法人　広島県土木協会）
　　http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html
（４）工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
（５）利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
（６）運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
　この場合においては、次のとおりとする。
　　１）「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規程（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規程（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と、「土木工事検査技術基準（広

島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
2）「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
3）「4.検査」は適用しない。
4）検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
5）受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

6.　主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

7.　法定外の労災保険の付保

1　本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
2　受注者は、建設工事請負契約約款第４７条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
3　法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

8.　週休２日適用工事等　週休２日

本工事は、週休２日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休２日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休２日適用工事等の実施について」に掲載している。

9.　建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1　再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2　計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m3以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれか

に該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合

(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード

(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章　工事材料

1.　見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く
	ベンチ	
	サイン	
	防草シート	

2.　品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く
	ベンチ	

第3章　施工条件

1.　安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員　・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

2.　盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、　2m3(地山土量)　については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

3.　建設副産物

(1) 建設発生土（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出）

当該工事により発生する建設発生土は、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

（名称）　　株式会社オハラリサイクルセンター

（所在地）　　東広島市西条町田口字石堂原10877-15

（運搬距離）　　8.3ｋｍ

(2) コンクリート殻（無筋）(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　9.0ｋｍ　を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　9.0ｋｍ　を見込んでいる。

第4章　その他

1.　工事関係書類

⑴ 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

⑵ 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2.　工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和８年８月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3.　疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

特記仕様書（中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更について）

１　本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」という）の調達に必要となる経費（以下、「別途調達経費」という）について、設計変更により計上できる工事である。

２　調達検討資材

ナフサを由来とする主要な建設資材の一覧

資材カテゴリ	主成分・性質
ジオテキスタイル	ＰＰ、ＰＥＴ
防草シート	ＰＰ、ＰＥＴ
排水材・フィルター	ＰＰ、ＰＥＴ
パイプ・配線管	塩ビ、ＰＥ、ＰＰ
ケーブル・配線管	塩ビ、ＰＥ
接着剤	ポリウレタン、エポキシ樹脂
塗料・シンナー	トルエン・キシレン等
止水材・シーリング材	ポリウレタン、アクリル
防水シート（トンネル）	塩ビ、合成ゴム
コンクリート混和材	ポリカルボン酸エーテル
仮設資材（ブルーシート、土のう）	ＰＥ、ＰＰ、ＰＶＣ
断熱材	ポリウレタン、ポリスチレン

※代表的なナフサ由来の資材の一例であり、この一覧にない場合でも協議することができる。
ただし、ナフサ由来の資材であることを確認すること。

３　内容

（１）　受注者は、調達検討資材について、別途調達経費が必要となる場合には、事前に「（様式１）調達検討資材に関する協議書」を提出し、監督職員と協議するものとする。ただし、調達検討資材を直ちに購入契約する必要がある等、迅速な対応が求められる場合には、口頭、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、次のとおり想定している。

①　調達検討資材の代替資材を調達した場合
（例：塩化ビニル管を鉄管やコンクリート管に変更して施工する場合）

②　調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
（例：通常より遠方から調達する必要があり、運搬費が追加で必要な場合）

③　調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）
（例：通常より調達ロットを小さくせざるを得なくなり、単価が高くなる場合）

（２）　受注者は、設計変更に際し、「（様式２）調達検討資材に関する実施報告書」及び実際の取引伝票、請求書等（調達時期、購入数量、購入単価が記載された資料）を監督職員に提出すること。

（３）　妥当性が確認された別途調達経費については、設計変更の対象とする。ただし、受注者の責めに帰すべき事由により生じた増加費用については、設計変更の対象としない。

（４）　受注者は、代替資材を調達する場合には、当該代替資材が設計図書で求める機能や品質等を満足していることが確認できる資料（カタログ等）を作成し、監督職員に提出しなければならない。

※ 様式については、契約課ホームページに掲載

4　積算方法

（1）　設計変更は、精算変更時（指定部分がある場合には、その指定部分の精算変更時）に行うことを基本とする。

（2）　設計変更を行う対象数量の考え方は、次のとおりとする。

既済部分について出来高部分払いを行っている場合は、当該既済部分払いの対象となった出来高部分に係る数量を除いた数量を設計数量とする。

証明された数量と対象数量の考え方
証明数量＜設計図書の数量 → 設計変更不可。 設計図書の数量≦証明数量≦設計数量 → 設計変更可。対象数量は証明数量 設計数量＜証明数量 → 設計変更可。対象数量は設計数量 設計図書の数量：設計図書（数量総括表や図面等）に記載されている数量 設計数量：設計図書の数量にロスを加えた数量（積算上の数量） 証明数量：受注者から証明された数量

※精算変更見込み数量を考慮すること。

換算値などを用いて明示した調達数量については、受発注者間で合意した換算値等や実際の使用量などを基に、受発注者間で協議して最終的な設計数量を決定すること。

（3）　設計変更に用いる単価は、実際の取引伝票、請求書等で確認出来た実際の購入価格とする。

（4）　別途調達経費は、直接工事費に計上するものとする。

材料費が個別に設定されている場合は、実際の購入価格に入れ替えて設計変更を行うこと。土木工事標準単価など材料費が分離できない場合は、調達検討資材の当初積算時点での実勢価格（物価資料等）と実際の購入価格の差分を計上して設計変更を行うこと。なお、当初積算時点の実勢価格（物価資料等）が掲載されていない場合は、受注者に当初積算時点の取引価格を確認の上、差分を算出すること。

（5）　本運用に基づく設計変更内容は、建設工事請負契約約款第 25 条（スライド条項）の対象外とする。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
河川維持		式		1	レベル1
水路工		式		1	レベル2
側溝工		式		1	レベル3
蓋版工	グレーチング蓋U字溝用300×1000,T-14	枚		3	レベル4
付属物設置工		式		1	レベル2
防護柵工		式		1	レベル3
ガードレール	【Gr-C-4E】	m		2	レベル4
立入防護柵	H=1.8m_亜鉛めっき_線径3.2mm×網目56mm 基礎ブロックまたはCo建込	m		168	レベル4
立入防護柵	H=1.8m_亜鉛めっき_線径3.2mm×網目56mm ガードレール取付	m		58	レベル4
転落防止柵	センタービーム,コンクリート建込 コンクリート削孔含む	m		18	レベル4
付属物設置工		式		1	レベル3
車線分離標	設置 高さ_650mm	本		5	レベル4
サービス施設整備工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り		式		1	レベル4
埋戻し		式		1	レベル4
積込み	岩塊	m3		0.4	レベル4

工事数量総括表

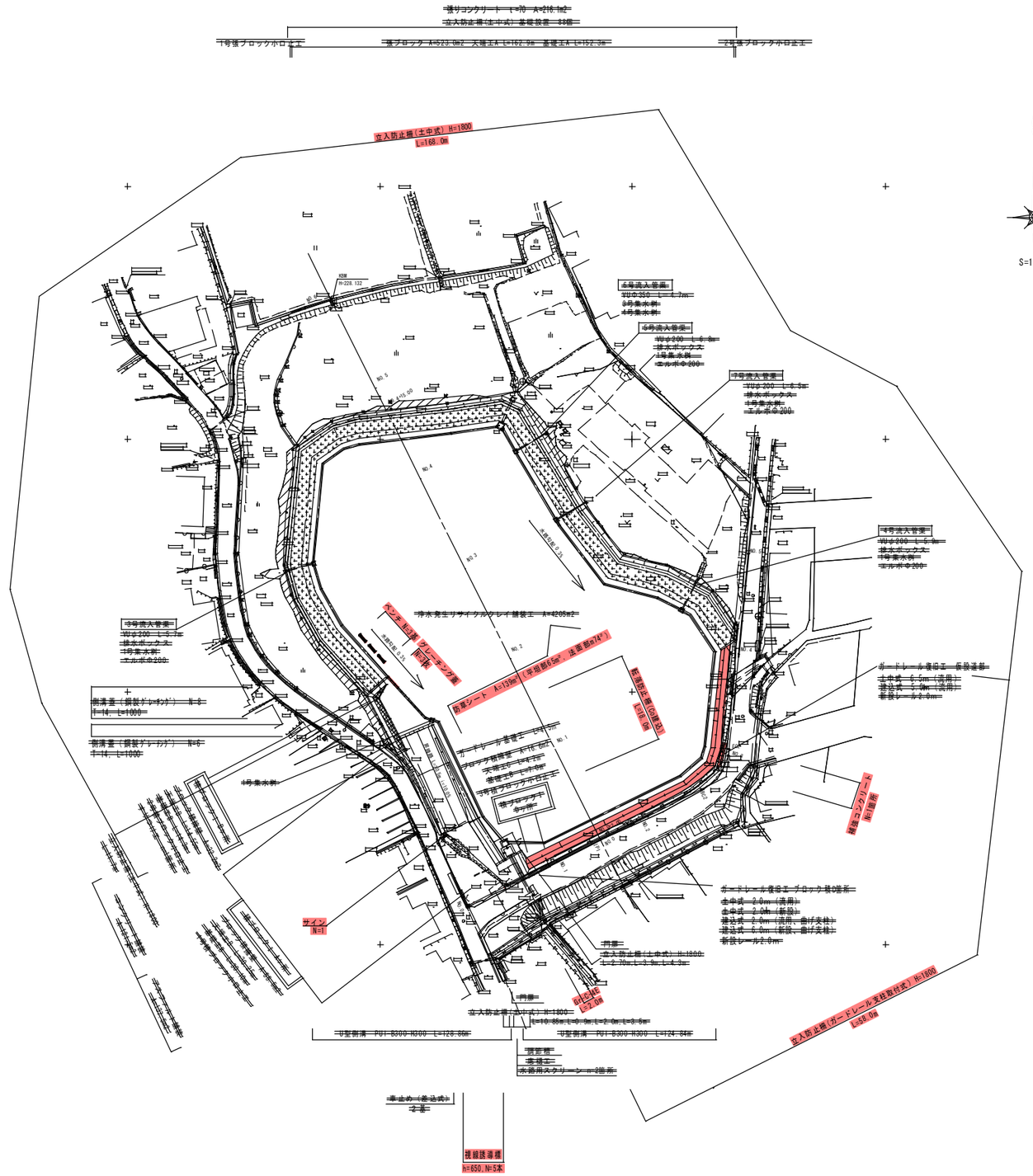
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
土砂等運搬	岩塊・玉石混り土	m3		0.6	レベル4
処分費	岩塊・玉石混り土	m3		0.6	レベル4
ベンチ・テーブル工		式		1	レベル3
ベンチ	背なし_W1800×D435×H400_埋込	基		3	レベル4
サイン施設工		式		1	レベル3
サイン	900×900×1800,片面 基礎、看板印刷含む	基		1	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版厚15cm以下	m		6	レベル4
舗装版破砕積込(小規模土工)		m2		2	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	【As殻】	m3		0.2	レベル4
殻運搬	【Co殻（無筋）】	m3		0.01	レベル4
殻処分	【As殻】	t		0.4	レベル4
殻処分	【Co殻（無筋）】	t		0.02	レベル4
法面工		式		1	レベル2
法面管理工		式		1	レベル3
防草シート	【2層構造,再生ポリエステル,厚4mm】	m2		139	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
上層路盤工	RM-30,t=10cm	m2		2	レベル4
表層工	再生密粒度As20,t=5cm	m2		2	レベル4
雑工		式		1	レベル2
雑工		式		1	レベル3
補強コンクリート	18-8-40BB 差筋D13_L300@300	箇所		1	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					

工事数量総括表

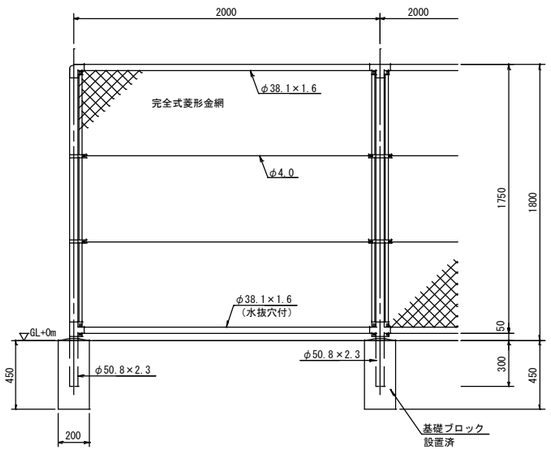
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					


立入防止柵（土中式）H=1800
L=168.0m
N=228.132
No.5
No.4
No.3
No.2
No.1
ベンチ 1基
ゴミ箱 1基
照明灯 2基
サイン N=1
門扉
W=2.0m
立入防止柵（ガードレール支柱取付式）H=1800
L=58.0m
U型側溝 PU1-B300-H300 L=128.0m
U型側溝 PU1-B300-H300 L=124.84m
雨水桝 A=4205m2
斜面シート A=125m2
盛土部6.5m² 法面部47㎡
既設コンクリート擁壁 撤去
排水ポンプ 2-2
集水桝 2-2
2-2ボ-D200
2-2ボ-D200
2-2ボ-D200

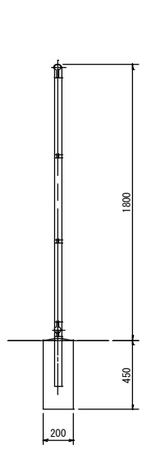
構造図4/6 （防止柵・~~門扉・車止め~~・舗装・~~排水ゲート・水路用スクリーン~~）

立入防止柵(参考図) S=1:20
H=1800 土中式

正面図



断面図



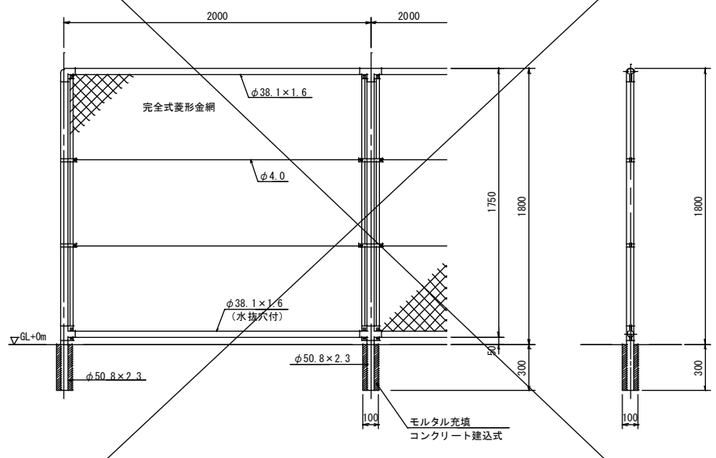
材料表 10m当り

種別	算式	単位	数量	備考
ネットフェンス		m	10.00	
~~基礎ブロック~~	~~10.00/2.00~~	~~個~~	~~5.00~~	~~□200×480~~

※ナットは袋ナットを使用すること
基礎ブロックは設置済

立入防止柵(参考図) S=1:20
H=1800 建込式

正面図



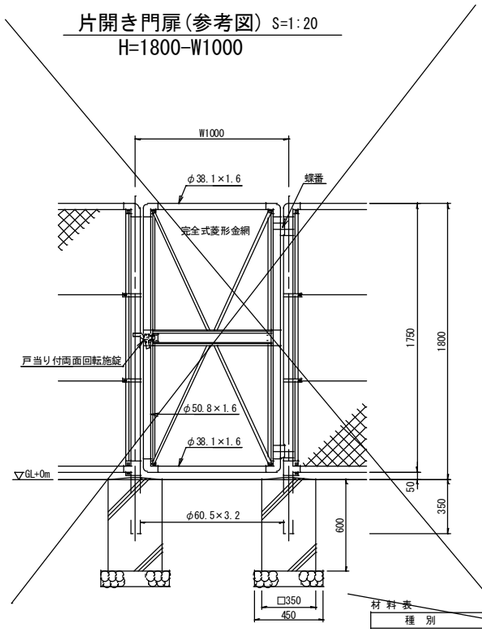
断面図

材料表 10m当り

種別	算式	単位	数量	備考
ネットフェンス		m	10.00	
コンクリート掘削	0.10×0.10×1/4×3.14×0.30×5	m3	0.012	
モルタル充填	0.012-0.05×0.05×1/4×3.14×0.30×5	m3	0.009	

※ナットは袋ナットを使用すること

片開き門扉(参考図) S=1:20
H=1800-W1000

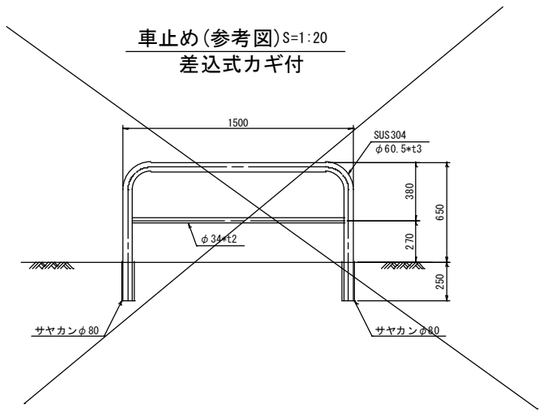


材料表 1箇所当り

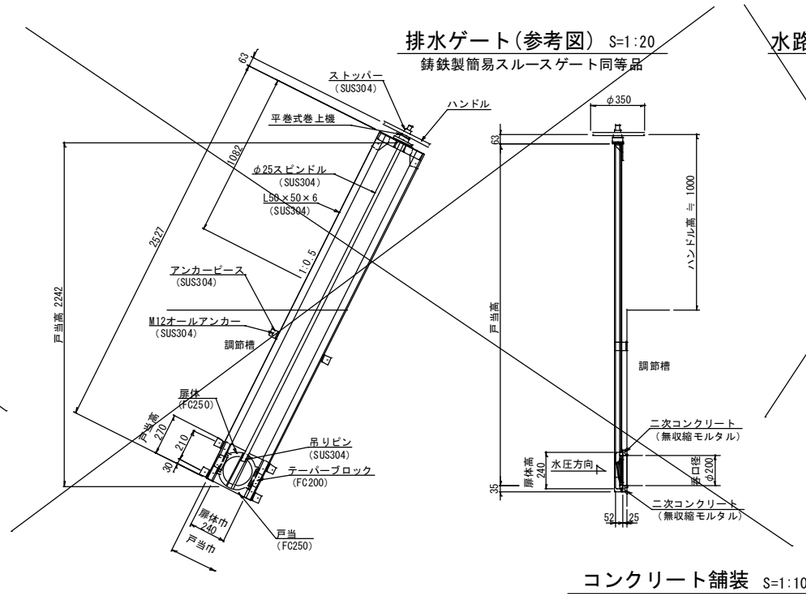
種別	算式	単位	数量
ネットフェンス門扉 H=1.8m W=1.0m		基	1.00
基礎ブロック □350×600		個	2.00
基礎砕石 t=10cm	0.45×0.45×2.00	m2	0.41

※：ナットは袋ナットを使用すること

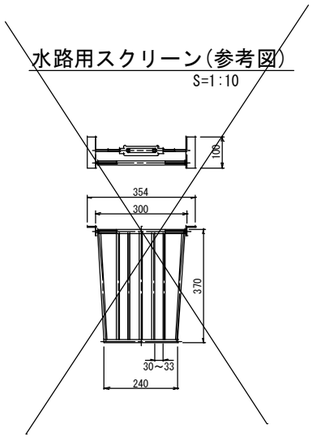
車止め(参考図) S=1:20
差込式カギ付



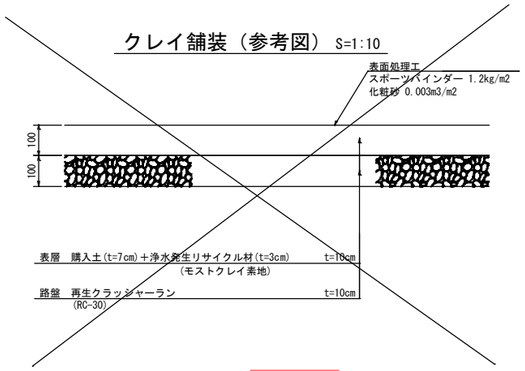
排水ゲート(参考図) S=1:20
鋳鉄製簡易スルースゲート同等品



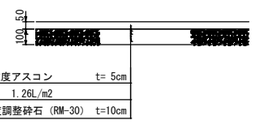
水路用スクリーン(参考図)
S=1:10



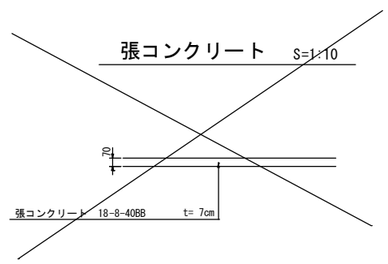
クレイ舗装 (参考図) S=1:10



As舗装
S=1:20

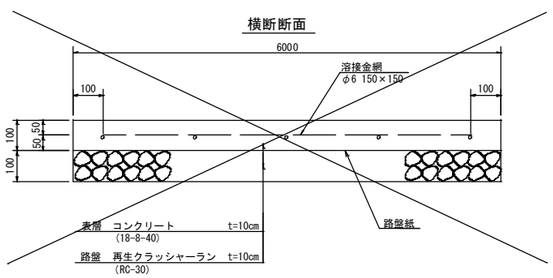


張コンクリート S=1:10

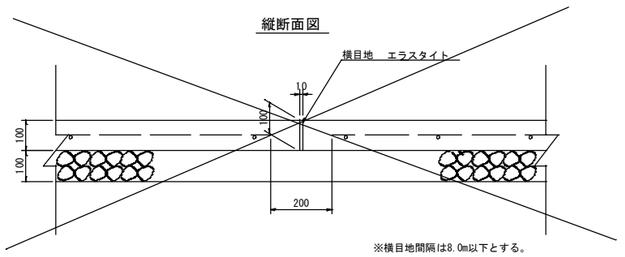


コンクリート舗装 S=1:10

横断断面



縦断面図



※横目地間隔は8.0m以下とする。

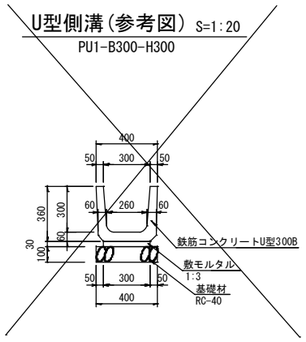
大地面池

工事名	令和8年度 治水対策事業 大地面池調整池改築工事		
図面名	構造図4/6 (防止柵・~~門扉・車止め~~・舗装・~~排水ゲート・水路用スクリーン~~)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	13 / 24
会社名			
事業所名	東広島市		

構造図5/7 ~~(流入管渠集水桝・底樋工)~~

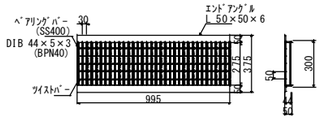
U型側溝(参考図) S=1:20

PU1-B300-H300

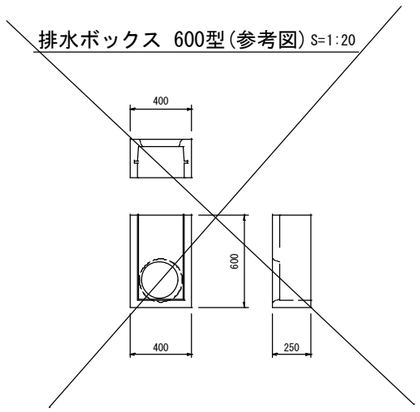


グレーチング(参考図) S=1:20

U字溝 幅300用

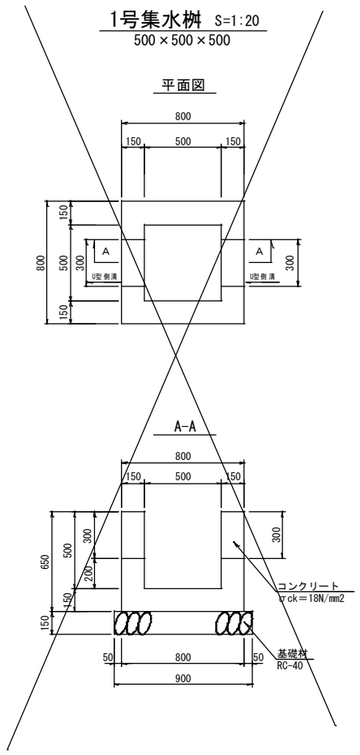


排水ボックス 600型(参考図) S=1:20



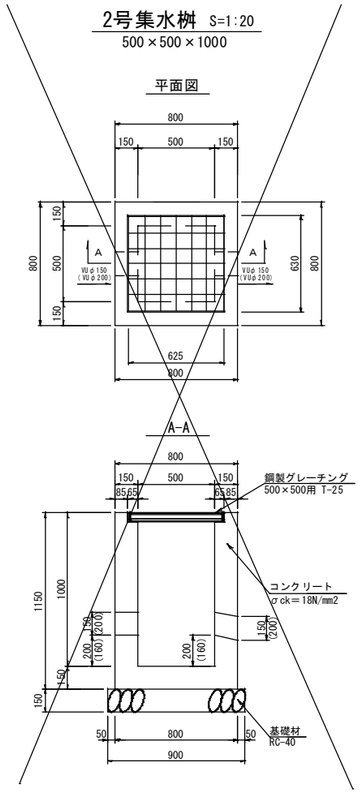
1号集水桝 S=1:20

500×500×500



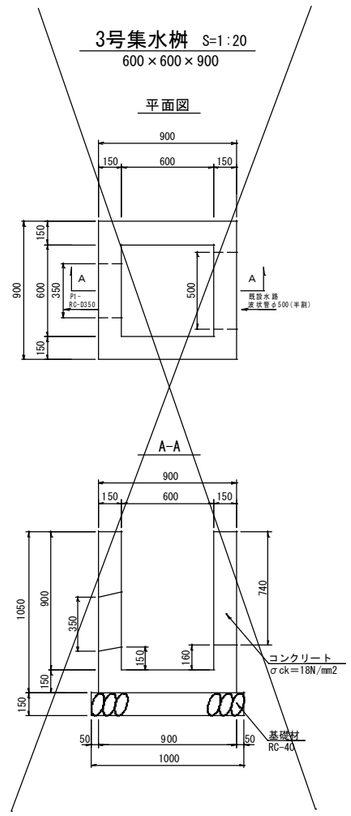
2号集水桝 S=1:20

500×500×1000



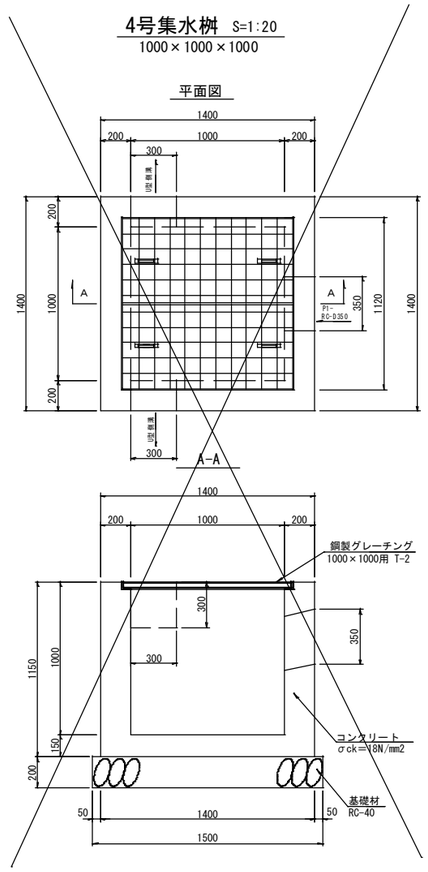
3号集水桝 S=1:20

600×600×900



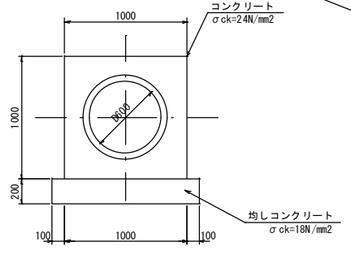
4号集水桝 S=1:20

1000×1000×1000



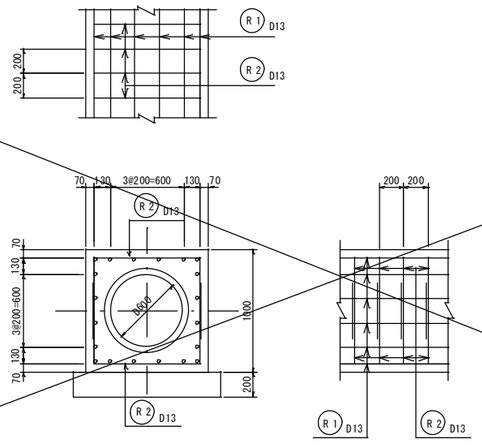
底樋工

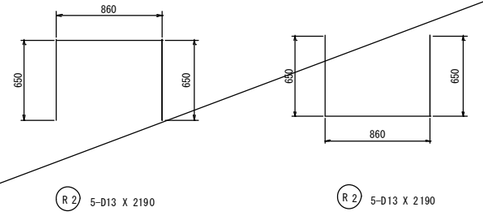
S=1:25



底樋工配筋図

S=1:25





鉄筋質量表 SD345

1.0m当り

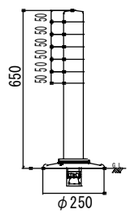
符号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
R 1	D13	1000	20	0.995	0.995	19.900	—
R 2	D13	2190	10	0.995	2.179	21.790	凵
						41.69 kg	
合計		D13			41.69 kg		
総質量					41.69 kg		

大地面池

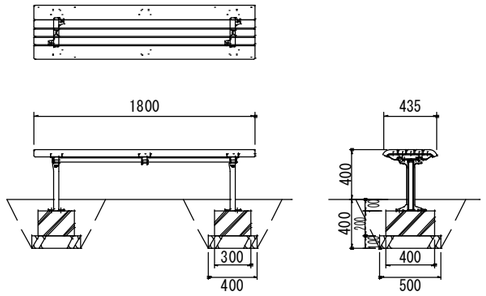
工事名	令和8年度 治水対策事業 大地面池調整池改築工事		
図面名	構造図5/7 ~~(流入管渠集水桝・底樋工)~~		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	14 / 24
会社名			
事業所名	東広島市		

構造図8/8 （車線分離標・ベンチ・サイン、立入防止柵、転落防止柵、ガードレール）

車線分離標
S=1:25
（参考図）



ベンチ
（参考図） S=1:25

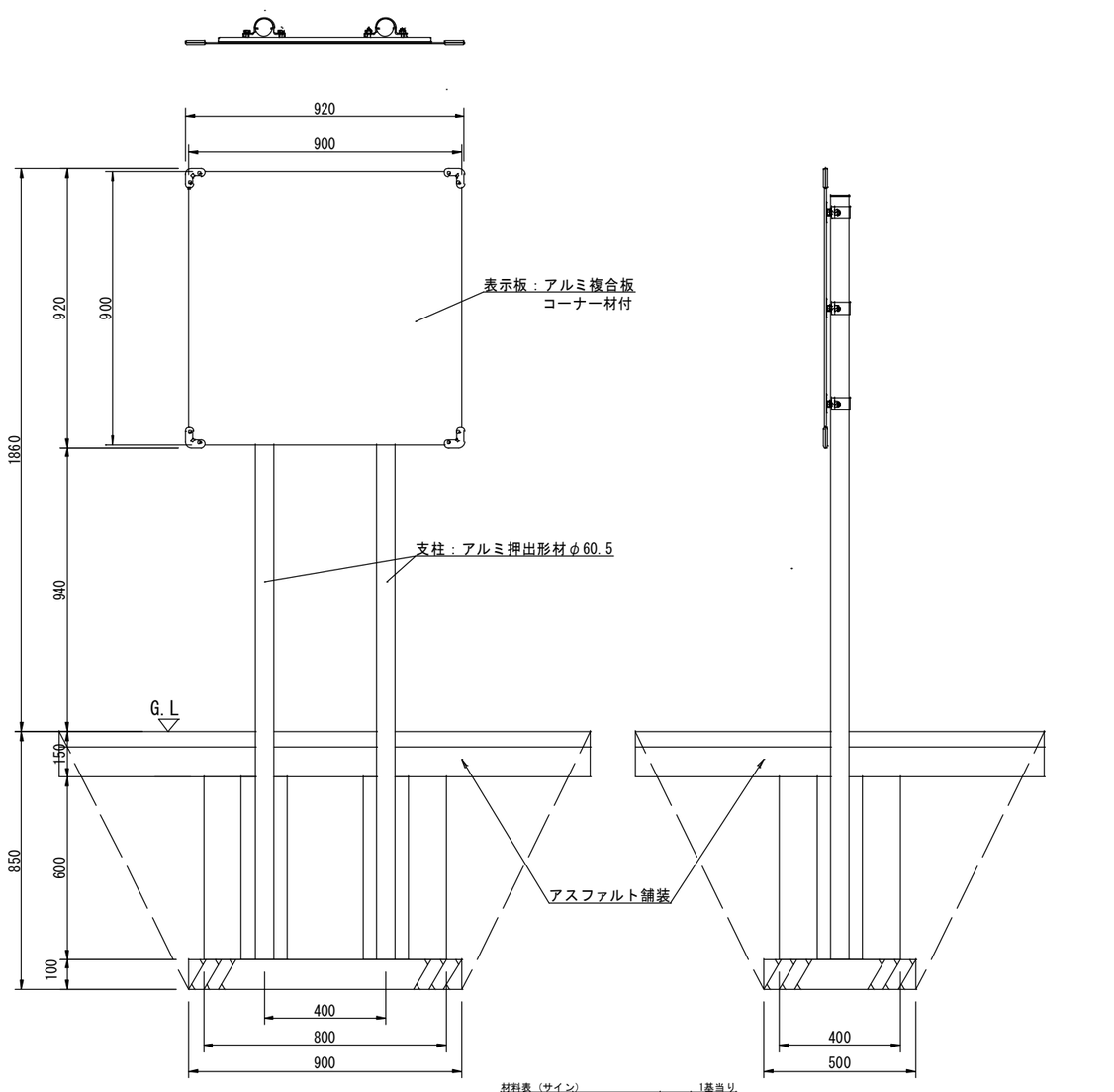


材料表（ベンチ） 1基当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘		m^3	0.40
埋　戻		m^3	0.40
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m^2	0.40
型　枠		m^2	0.60
コンクリート	18-8-40BB	m^3	0.05
ベンチ	背なし（埋込） 1800×435×400	基	1.00

※基礎の寸法は参考です。

サイン
（参考図） S=1:10



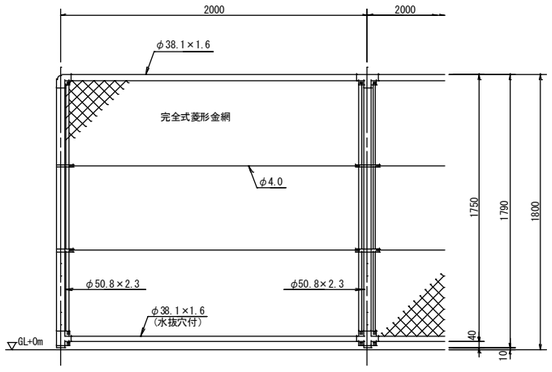
材料表（サイン） 1基当り

名　称	規　格	単位	数　量
舗装版切断		m	6.20
舗装版破砕		m^2	2.40
As殻		m^3	0.20
		t	0.40
床　掘		m^3	1.00
埋　戻		m^3	0.60
サイン	900×900×1800,片面	基	1.00
上層路盤	RM-30, t=10cm	m^2	2.40
表層	再生密粒度As20, t=5cm	m^2	2.40

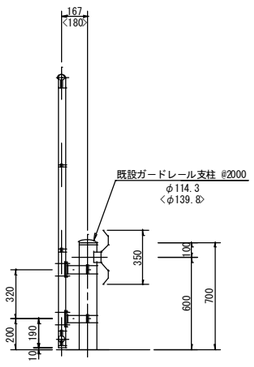
※基礎の寸法は参考です。

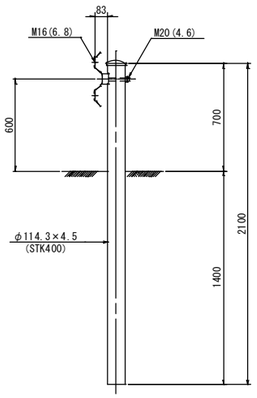
立入防止柵 S=1:20
H=1800 ガードレール取付用

正面図



断面図





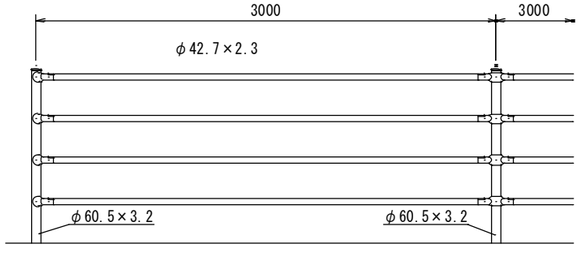
<>内はφ139.8の場合を示す。

材料表 10m当り

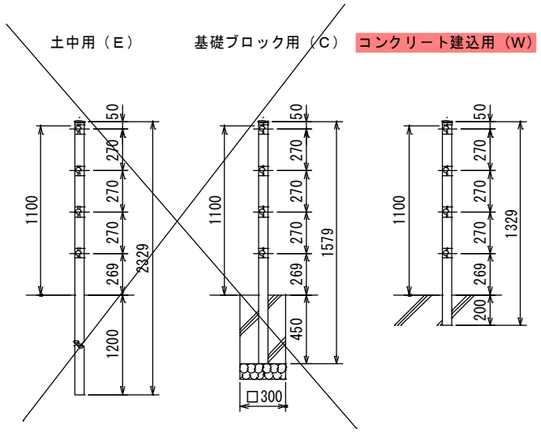
種　別	算　式	単位	数　量	備　考
ネットフェンス		m	10.00	
取付金具	5.00×2.00	個	10.00	

ガードレール S=1:20
Gr-C-4E

転落防止柵
S=1:20



土中用（E）　基礎ブロック用（C）　コンクリート建込用（W）



大地面池

工事名	令和8年度　治水対策事業 大地面池調整池改築工事
図面名	構造図8/8 （車線分離標、ベンチ、サイン、 立入防止柵、転落防止柵、ガードレール）
作成年月日	
縮　尺	図示　図面番号　/ 26
会社名	
事業所名	東広島市

参　考　図　書

工 事 名 称 ： 令和8年度　治水対策事業
大地面池調整池改築工事

＜注意事項＞

1　　本工事は、数量公開の対象工事です。

2　　この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、
契約上の拘束をするものではありません。

3　　その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
岩塊・玉石混り土	株式会社オハラリサイクルセンター	東広島市西条町田口字石堂原10877-15	8.3

・当該工事により発生するAs殻及びCo殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
As殻	㈲トラスト	東広島市西条町上三永348-14	9.0
Co殻	㈲トラスト	東広島市西条町上三永348-14	9.0

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	44 東広島市
単価適用日	00-08.09.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	14 河川維持工事	
施工地域・工事場所区分	00 補正なし	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	09 閉所型・月単位	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
河川維持	1	式			Y1B01　レベル1
水路工	1	式			Y2999　レベル2
側溝工	1	式			Y3999　レベル3
蓋版工 グレーチング蓋U字溝用300×1000,T-14	3	枚			Y4999　レベル4
蓋版 蓋版(各種) 40≧重量	3	枚			SDT00017　00 単第0 -0001　表
付属物設置工	1	式			Y1B0106　レベル2
防護柵工	1	式			Y1B010601　レベル3
ガードレール 【Gr-C-4E】	2	m			Y1B01060101レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵設置工(Gr) 土中建込 - 塗装品_Gr-C-4E [規]21m未満	2	m			SS000121 00 単第0 -0002 表
立入防護柵 H=1.8m_亜鉛めっき_線径3.2mm×網目56mm 基礎ブロック含まず	168	m			Y4999 レベル4
金網・支柱（立入防止柵） 支柱間隔2m,基礎ブロックなし	168	m			F000001100 00
ネットフェンス<丸パイプ型>亜鉛めっき Z-GS6,3.2×56支柱めっき H1800	168	m			TTPCH0014 00
立入防護柵 H=1.8m_亜鉛めっき_線径3.2mm×網目56mm ガードレール取付	58	m			Y4999 レベル4
金網・支柱（立入防止柵） 支柱間隔2m,基礎ブロックなし	58	m			F000001100 00
ネットフェンス H1800_亜鉛めっき_線径3.2mm×網目56mm ガードレール取付	58	m			F000000300 00
転落防止柵 センタービーム,コンクリート建込 コンクリート削孔含む	18	m			Y4999 レベル4
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径100mm以上110mm未満 削孔深さ50mm以上200mm未満	6	孔			SPK26040116 00 単第0 -0003 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
横断・転落防止柵 PCブロック建込 ビーム式・パネル式 [規]100m未満 プレキャストCoブロック建込	18	m			SS000143 00 単第0 -0004 表
付属物設置工	1	式			Y3999 レベル3
車線分離標 設置 高さ_650mm	5	本			Y4999 レベル4
車線分離標(固定式)(貼付式) 設置 高さ_650mm [規]10本未満	5	本			SS000095 00 単第0 -0005 表
サービス施設整備工	1	式			Y2999 レベル2
作業土工	1	式			Y3999 レベル3
床掘り	1	m3			Y4999 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	1	m3			SPK26040014 00 単第0 -0006 表
埋戻し	1	m3			Y4999 レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 土砂 現場制約あり 締固め有り	1	m3			SPK26040019 00 単第0 -0007 表
積込み 岩塊	0.4	m3			Y4999 レベル4
人力積込 岩塊	0.4	m3			SPK26040008 00 単第0 -0008 表
土砂等運搬 岩塊・玉石混り土	0.6	m3			Y4999 レベル4
土砂等運搬 現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離10.5km以下(8.0km超)	0.6	m3			SPK26040002 00 単第0 -0009 表
処分費 岩塊・玉石混り土	0.6	m3			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 岩塊・玉石混り土	0.6	m3			F000000900 00
ベンチ・テーブル工	1	式			Y3999 レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ベンチ 背なし_W1800×D435×H400_埋込	3	基			Y4999　レベル4
ベンチ据付 背なしベンチ 重量:40kg以上50kg未満	3	基			S6660　00 単第0 -0010　表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	1	m2			SPK26040033 00 単第0 -0011　表
型枠 一般型枠 小型構造物	2	m2			SPK26040159 00 単第0 -0012　表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.2	m3			SPK26040157 00 単第0 -0013　表
サイン施設工	1	式			Y3999　レベル3
サイン 900×900×1800,片面 基礎、看板印刷含む	1	基			Y4999　レベル4
支柱・基礎設置（複柱式） 土工、支柱及び基礎（材料）含む	1	基			F000001200　00
表示板設置 900×900	1	枚			F000001300　00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
サイン 900×900×1800,片面 支柱_アルミ押出形材φ60.5	1	基			F000000600　00 表示板‗アルミ複合板,コーナー材付（
構造物撤去工	1	式			Y2999　　レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y3999　　レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下	6	m			Y4999　　レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	6	m			SPK26040304 00 単第0 -0014　表
舗装版破砕積込(小規模土工)	2	m2			Y4999　　レベル4
舗装版破砕積込(小規模土工)	2	m2			SPK26040017 00 単第0 -0015　表
運搬処理工	1	式			Y3999　　レベル3
殻運搬 【As殻】	0.2	m3			Y1B01110101レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離11.0km以下(8.0km超)	0.2	m3			SPK26040155 00 単第0 -0016 表
殻運搬 【Co殻（無筋）】	0.01	m3			Y1B01110101レベル4
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間有り 運搬距離9.0km以下(8.0km超)	0.01	m3			SPK26040155 00 単第0 -0017 表
殻処分 【As殻】	0.4	t			Y1B01110102レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 As殻	0.4	t			F000000700 00 ;㈲トラスト
殻処分 【Co殻（無筋）】	0.02	t			Y1B01110102レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 Co殻（無筋）	0.02	t			F000000800 00 ;㈲トラスト

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
法面工	1	式			Y1B0109　レベル2
法面管理工	1	式			Y1B010901　レベル3
防草シート 【2層構造,再生ポリエステル,厚4mm】	139	m2			Y1B01090122レベル4
防草シート敷設 2層構造,再生ポリエステル,厚4mm 平坦部	65	m2			V000000400　00 単第0 -0018　表
防草シート敷設 2層構造,再生ポリエステル,厚4mm 法面部	74	m2			V000000500　00 単第0 -0019　表
舗装工	1	式			Y2999　レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y3999　レベル3
上層路盤工 RM-30,t=10cm	2	m2			Y4999　レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	2	m2			SPK26040234 00 単第0 -0020　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層工 再生密粒度As20,t=5cm	2	m2			Y4999　レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	2	m2			SPK26040241 00 単第0 -0021 表
雑工	1	式			Y2999　レベル2
雑工	1	式			Y3999　レベル3
補強コンクリート 18-8-40BB 差筋D13_L300@300	1	箇所			Y4999　レベル4
補強コンクリート	1	箇所			V000000300 00 単第0 -0022 表
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					 当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

蓋版　　SDT00017　　単第0 -0001　表

蓋版(各種) 40≧重量　　1　　枚　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			
グレーチング蓋 300×1000,T-14,U字溝用	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　昼間施工 D=3　【F】蓋版(枚) F=1　時間的制約なし			B=9　蓋版(各種) E=1　40≧重量 G=1　-		

施工単価表

防護柵設置工(Gr) 土中建込　　SS000121　　単第0 -0002　表

- 塗装品_Gr-C-4E　　[規]21m未満　　1　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
標準型【材工共】 土中建込・塗装品(白色) Gr-C-4E	1.000	m			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1 - C=4 [規]21m未満 F=1 -			B=3 塗装品_Gr-C-4E E=1 - G=1 -		
H=1 -			I=1 -		

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)　SPK26040116　単第0 -0003　表

削孔径100㎜以上110㎜未満　削孔深さ50㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.63%　労務構成比: 64.65%　材料構成比: 32.72%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 6,620.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン [簡易仕様型]最大穿孔径φ250㎜	1.36%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 〔簡易仕様型〕 最大穿孔径φ250㎜		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	0.78%		発動発電機 ガソリンエンジン駆動 3kVA		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	37.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.12%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.38%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径110.0㎜,一般用 コンクリート削孔用	29.83%		ダイヤモンドビット φ110㎜		TTPC00235 TTPT00235
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.35%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)　SPK26040116　単第0 -0003　表

削孔径100㎜以上110㎜未満　削孔深さ50㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.63%　労務構成比: 64.65%　材料構成比: 32.72%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 6,620.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=5　削孔径100㎜以上110㎜未満			B=1　削孔深さ50㎜以上200㎜未満		

施工単価表

横断・転落防止柵 PCブロック建込　　SS000143　　単第0 -0004　表

ビーム式・パネル式 [規]100m未満　　プレキャストCoブロック建込　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
設置【手間のみ】 プレキャストコンクリートブロック建込 ビーム式・パネル式(支柱間隔3m)	1.000	m			
転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色 2.3×φ42.7×3000 プレキャストCoブロック建込	1.000	m			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　ビーム式・パネル式 D=2　[規]100m未満			B=10　転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色 F=1　-		

施工単価表

車線分離標(固定式)(貼付式)　SS000095　単第0 -0005　表

設置 高さ_650㎜ [規]10本未満　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
車線分離標設置(ラバーポール)【材工共】 固定式(貼付式) 本体径φ80㎜高さ650㎜	1.000	本			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=1　設置 C=3　[規]10本未満 F=1　-			B=2　高さ_650㎜ E=1　-		

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0006　表

土砂 上記以外(小規模)　　1　m3　当り

機械構成比: 19.50%　労務構成比: 73.36%　材料構成比: 7.14%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,397.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	19.50%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
運転手(特殊)	39.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=1　-(全ての費用)			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0007　表

土砂　　現場制約あり 締固め有り　　1　　m3　　当り

機械構成比: 0.23%　労務構成比: 99.41%　材料構成比: 0.36%　市場単価構成比: 0.00%　　標準単価： 8,182.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.23%		タンパ及びランマ 通称60～80kg級		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	88.45%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.36%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=6 現場制約あり C=1 締固め有り			B=1 土砂 D=1 -(全ての費用)		

施工単価表

人力積込　　SPK26040008　　単第0 -0008　表

岩塊　　1　　m3　　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 5,092.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	100.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
積算単価			積算単価		EP001
A=2　岩塊・玉石					

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0009　表

現場制約あり　土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間有り　距離10.5km以下(8.0km超)　　1　m3　当り

機械構成比:　19.09%　労務構成比:　72.09%　材料構成比:　8.82%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　6,342.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　現場制約あり C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=41　距離10.5km以下(8.0km超)			B=7　人力 D=2　DID区間有り		

施工単価表

ベンチ据付　　S6660　　単第0 -0010　表
背なしベンチ　　重量:40kg以上50kg未満　　10　　基　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ベンチ 背なし_W1800×D435×H400_埋込	10.000	基			
特殊作業員	0.320	人			据付手間
普通作業員	1.280	人			据付手間
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	基			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			
A=2　背なしベンチ C=1　ベンチ【登録単価CODE】(基)			B=4　重量:40kg以上50kg未満		

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0011　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　5.11%　　労務構成比:　79.15%　　材料構成比:　15.74%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,318.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	5.08%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	38.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	16.10%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.92%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	10.65%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0011　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　5.11%　　労務構成比:　79.15%　　材料構成比:　15.74%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,318.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0012　表

一般型枠　　小型構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 9,646.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.38%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0013　表

小型構造物 18-8-40BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 41.24%　材料構成比: 58.76%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 38,619.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.76%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2　小型構造物 C=2　18-8-40BB H=2　現場内小運搬無し K=1　-(全ての費用)			B=3　人力打設 F=2　一般養生 J=1　-		

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0014　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)･湿式･E駆動 通称(切削深)20cm級ブレード径φ56cm	9.80%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0014　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)　　SPK26040017　　単第0 -0015　表

1　　m2　　当り

機械構成比:　21.20%　労務構成比:　70.89%　材料構成比:　7.91%　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,871.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0016　表

舗装版破砕　　DID区間有り　運搬距離11.0km以下(8.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　19.09%　　労務構成比:　72.09%　　材料構成比:　8.82%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　8,245.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=45　運搬距離11.0km以下(8.0km超)		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0017　表

吹付法面とりこわし(モルタル)　　DID区間有り 運搬距離9.0km以下(8.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　19.55%　労務構成比:　66.83%　材料構成比:　13.62%　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価：　3,003.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ダンプトラック 積載質量4t	19.55%		ダンプトラック オンロード・ディーゼル 通称4t積級		KTPC00055 KTPT00055
運転手(一般)	66.83%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	13.62%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=4　吹付法面とりこわし(モルタル) C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=39　運搬距離9.0km以下(8.0km超)		

施工単価表

防草シート敷設　　V000000400　　単第0 -0018　表

2層構造,再生ポリエステル,厚4㎜　　平坦部　　100　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
防草シート設置工（平坦部） 露出,固定ピンのみによる設置	100	m2			
防草シート 2層構造,再生ポリエステル,厚4㎜	100	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

防草シート敷設　　V000000500　　単第0 -0019　表

2層構造,再生ポリエステル,厚4㎜　　法面部　　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
防草シート設置工（法面部） 露出,固定ピンのみによる設置	100	m2			
防草シート 2層構造,再生ポリエステル,厚4㎜	100	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK26040234　単第0 -0020　表

RM-30　全仕上り厚100㎜ 1層施工　1　m2　当り

機械構成比: 11.39%　労務構成比: 38.57%　材料構成比: 50.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 646.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.88%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.98%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.96%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	6.21%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　　SPK26040234　　単第0 -0020　表

RM-30　　全仕上り厚100㎜ 1層施工　　1　　m2　　当り

機械構成比:　11.39%　労務構成比:　38.57%　材料構成比:　50.04%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　646.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整砕石 30～0㎜	46.32%		再生粒度調整砕石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150㎜		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.21%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5　RM-30 H=1　-(全ての費用)			E=100　全仕上り厚(㎜)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):100.000(㎜)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0021　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.42%　労務構成比: 44.56%　材料構成比: 55.02%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,034.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.23%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級	0.13%		振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.70%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.12%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	50.19%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.60%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0021　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.42%　労務構成比: 44.56%　材料構成比: 55.02%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,034.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

補強コンクリート　　V000000300　　単第0 -0022　表

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30㎜以上200㎜未満	15	孔			単第0-0023　表
鉄筋 SD345 D13	0.004	t			単第0-0024　表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	3	m2			単第0-0025　表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1.6	m3			単第0-0026　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK26040114　単第0 -0023　表

削孔深さ30㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.05%　労務構成比: 95.59%　材料構成比: 2.36%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 720.84000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	0.98%		発動発電機 ガソリンエンジン駆動 2kVA		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜	0.69%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.48%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK26040114　単第0 -0023　表

削孔深さ30㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.05%　労務構成比: 95.59%　材料構成比: 2.36%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 720.84000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1　削孔深さ30㎜以上200㎜未満					

施工単価表

鉄筋　　SPK26040332　　単第0 -0024　表

SD345 D13　　1　t　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 71.93%　材料構成比: 28.07%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 414,160.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	40.95%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	19.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	28.07%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4　SD345 D13			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0025　表

一般型枠　　鉄筋・無筋構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　　労務構成比:　100.00%　　材料構成比:　0.00%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　10,653.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.74%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=1　鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0026　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.34%　労務構成比: 35.09%　材料構成比: 61.57%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 38,330.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	3.16%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.14%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.44%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	59.79%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0026　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.34%　労務構成比: 35.09%　材料構成比: 61.57%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 38,330.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

数量総括表

工　種	種　　別	細　　目	規　　格	単位	当初数量	変更数量	計上数量	摘　　要
水路工								
	側溝工	蓋版工	グレーチング蓋 U字溝300用,L1000	枚	3		3	
付属物設置工	防護柵工	ガードレール	Gr-C-4E	m	2		2	
		転落防止柵	Co建込	m	18		18	
		立入防止柵	基礎ブロック	m	168		168	基礎ブロックは設置済
		立入防止柵	ガードレール支柱取付	m	58		58	
	付属物設置工	車線分離標	h650	本	5		5	
サービス施設整備工	作業土工	床掘り	土砂	m^3	1		1	
		埋戻し		m^3	1		1	
		積込み	岩塊	m^3	0.4		0.4	
		土砂等運搬	岩塊・玉石混り土	m^3	0.6		0.6	
		処分	岩塊・玉石混り土	m^3	0.6		0.6	
	ベンチ・テーブル工	ベンチ	背なし(埋込) 1800×435×400	基	3		3	
	サイン施設工	サイン	□900×1800,片面	基	1		1	
構造物撤去工	構造物取壊し工	舗装版切断		m	6		6	
		舗装版破砕		m^2	2		2	
	運搬処理工	殻運搬	As殻	m^3	0.2		0.2	
		殻運搬	Co殻（無筋）	m^3	0.01		0.01	
		処分	As殻	t	0.4		0.4	
		処分	Co殻（無筋）	t	0.02		0.02	
法面工	法面管理工	防草シート	二層構造,再生ポリエステル,厚4mm	m^2	139		139	平面部65m2 法面部74m2
舗装工	アスファルト舗装工	路盤工	RM-30,t=10cm	m^2	2		2	
		表層工	再生密粒度As20,t=5cm	m^2	2		2	
雑工	雑工	補強コンクリート	18-8-40BB 差筋D13L300@300	箇所	1		1	

水路工

数 量 集 計 表

名　　称	区　分	単位	数　量	備　　考
側溝工				
蓋版工	グレーチング蓋	枚	3.0	U字溝300用L1000,T-14

蓋版工	U字溝 300用	T-14	延長数量計算書		
位　　置	延　長	摘　要	位　　置	延　長	摘　要
	3.0	平面図より			
小　　計	3.0		小　　計		
			合　　計	3.0	

付属物設置工　　数　量　集　計　表

名　　称	区　分	単位	数　量	備　　考
防護柵工				
ガードレール	Gr-C-4E	m	2.0	
転落防止柵	Co建込	m	18.0	Co削孔φ100_N=6
立入防止柵　ネットフェンスH=1800	建込	m	168.0	
立入防止柵　ネットフェンスH=1800	ガードレール支柱取付	m	58.0	
付属物工				
車線分離標	h＝650	本	5	

ガードレールGr-C-4E

延長数量計算書

位　　置	延　長	摘　要	位　　置	延　長	摘　要
	2.0	平面図より			
小　　計	2.0		小　　計		
			合　　計	2.0	

転落防止柵（建込）

延長数量計算書

位　　置	延　長	摘　要	位　　置	延　長	摘　要
	18.0	平面図より			
小　　計	18.0		小　　計		
			合　　計	18.0	

立入防止柵（基礎ブロック）

延長数量計算書

位　　置	延　長	摘　要	位　　置	延　長	摘　要
	168.0	平面図より			
小　　計	168.0		小　　計		
			合　　計	168.0	

立入防止柵（ガードレール支柱取付）

延長数量計算書

位　　置	延　長	摘　要	位　　置	延　長	摘　要
	58.0	平面図より			
小　　計	58.0		小　　計		
			合　　計	58.0	

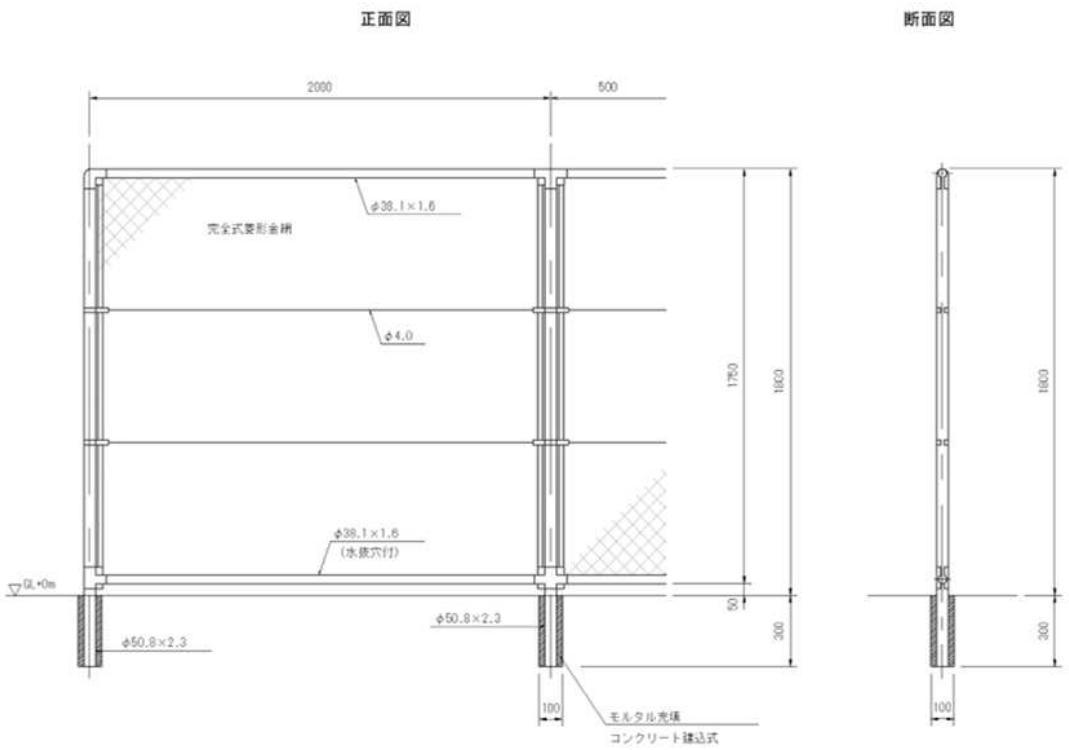
車線分離標

延長数量計算書

位　　置	延　長	摘　要	位　　置	延　長	摘　要
	5.0	平面図より			
小　　計	5.0		小　　計		
			合　　計	5.0	

数 量 計 算 書

立入防止柵　建込式

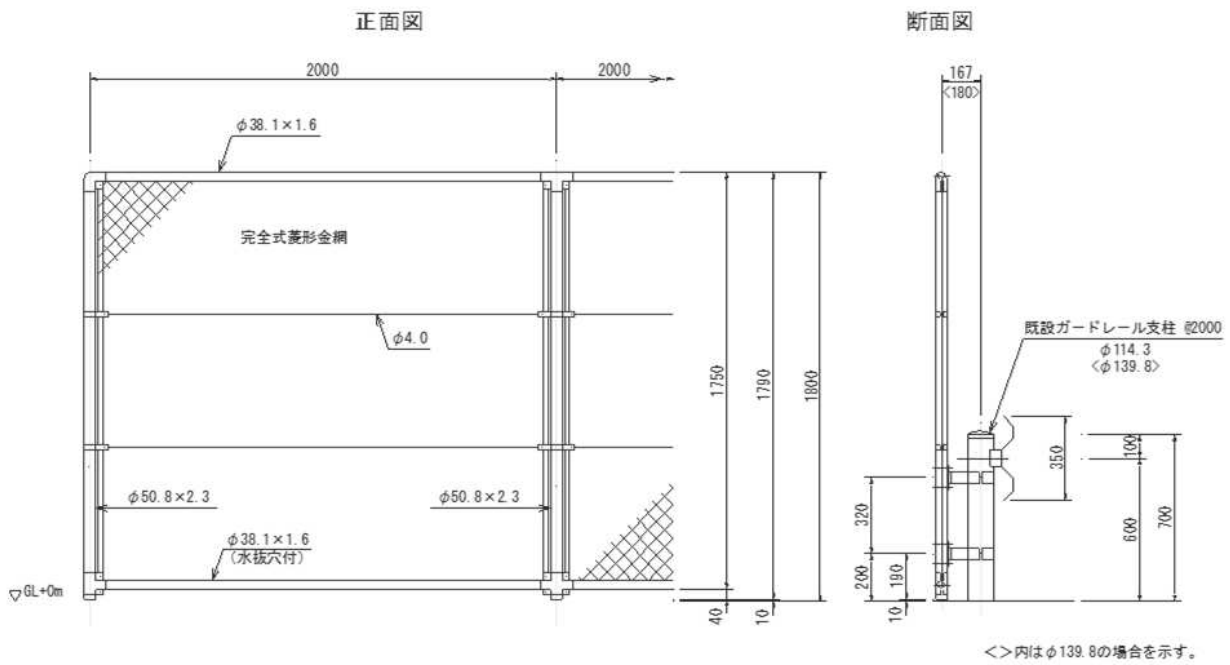


10.0m当り

名 称 ／ 規 格	計　　算　　式	単位数量	延長箇所	数 量
ネットフェンス H=1800	1.0	m 1.00	m 10.0	m 10.00

数 量 計 算 書

立入防止柵　ガードレール取付用

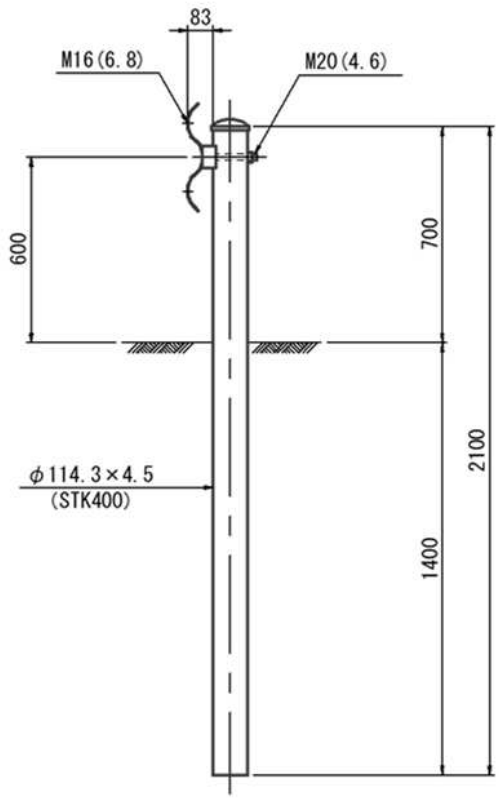


10.0m当り

名 称 ／ 規 格	計　　算　　式	単位数量	延長箇所	数 量
ネットフェンス H=1800	1.0	m 1.00	m 10.0	m 10.00
取付金具	5.00×2.00	個 10.00	式 1.0	個 10.00

数 量 計 算 書

ガードレール　Gr-C-4E

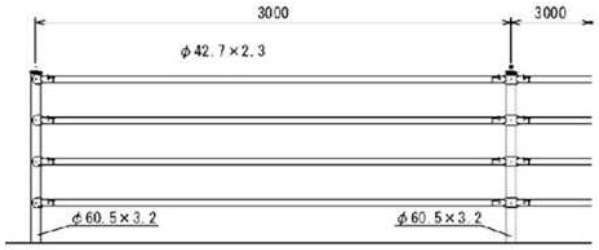


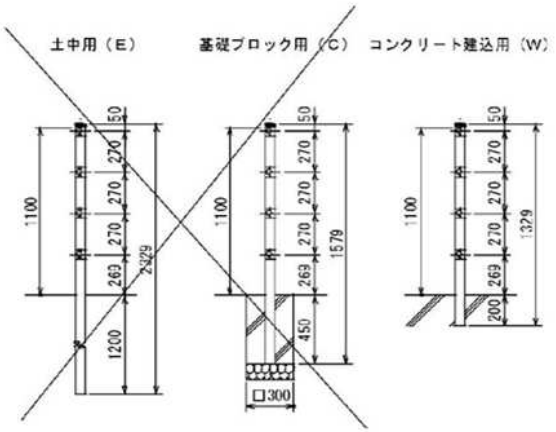
10.0m当り

名 称 ／ 規 格	計　　算　　式	単位数量	延長箇所	数 量
ガードレール Gr-C-4E	1.0	m 1.00	m 10.0	m 10.00

数 量 計 算 書

転落防止柵（コンクリート建込）　L=18m





18m当り

名 称 ／ 規 格	計　　算　　式	単位数量	延長箇所	数 量
コンクリート削孔 φ100,L=200	1	孔 1	箇所 6	孔 6
Co殻（無筋）	0.1^2*π/4*0.2	m3 0.0016	箇所 6	m3 0.01
〃	0.1^2*π/4*0.2*2.35	t 0.0037	箇所 6	t 0.02

サービス施設整備工　　数　量　集　計　表

名　　称	区　分	単位	数　量	備　　考
作業土工				
床掘り		m3	1	U字溝300用L1000,T-14
埋戻し		m3	1	
積込み	岩塊	m3	0.4	
土砂等運搬	岩塊・玉石交じり土	m3	0.6	
処分	岩塊・玉石交じり土	m3	0.6	
ベンチ・テーブル工				
ベンチ		基	3	
サイン施設工				
サイン		基	1	

サービス施設整備工　作業土工数量計算書

名　称・規　格	算　　式	単位	数　量
	箇所調書より		
	ベンチN=3基、サインN=1基		
床掘り	単位数量計算書より		
	ベンチ		
	V=　0.4　×　3　＝　1.2		
	看板		
	V=　1.0　×　1　＝　1.0		※対象外
	ΣV　＝　1.2	m3	1.2
埋戻し	単位数量計算書より		
	ベンチ		
	V=　0.3　×　3　＝　0.9		
	看板		
	V=　0.6　×　1　＝　0.6		※対象外
	ΣV　＝　0.9	m3	0.9
積込み	岩塊		
	V=　0.45　×　0.45　×　0.3		
	×　6　＝　0.4	m3	0.4
土砂等運搬	岩塊		
	V=　0.4		
	残土		
	V=　2.20　－　1.50　／　0.90　＝　0.2		
	ΣV　＝　0.6	m3	0.6
処分	岩塊		
	V=　0.4		
	残土		
	V=　0.2		
	ΣV　＝　0.6	m3	0.6

ベンチ

延長数量計算書

位　　置	延　長	摘　要	位　　置	延　長	摘　要
	3.0	平面図より			
小　　計	3.0		小　　計		
			合　　計	3.0	

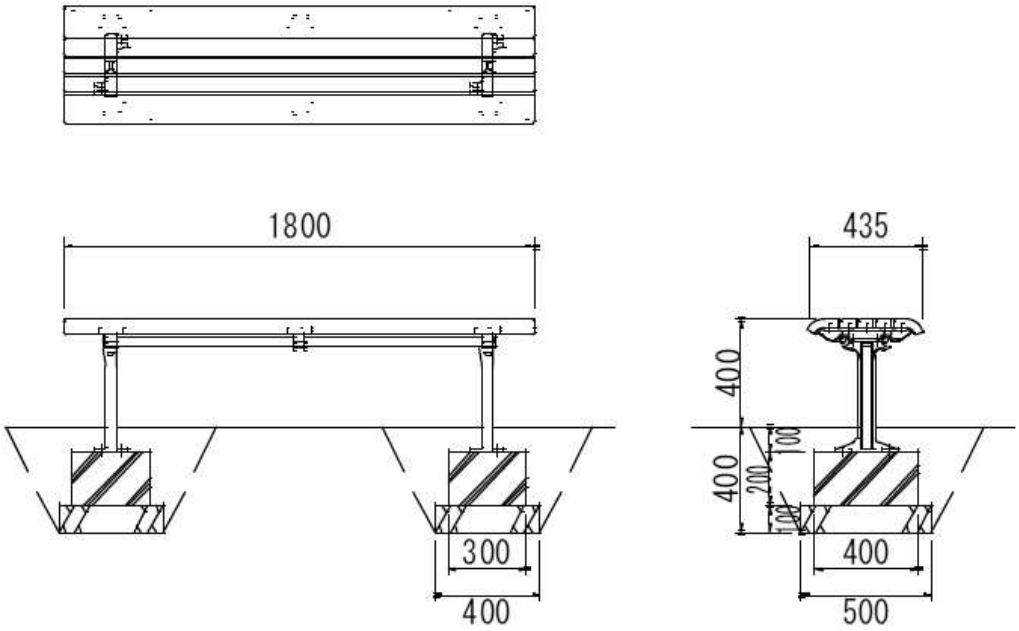
サイン

延長数量計算書

位　　置	延　長	摘　要	位　　置	延　長	摘　要
	1.0	平面図より			
小　　計	1.0		小　　計		
			合　　計	1.0	

数 量 計 算 書

ベンチ　　N＝3基

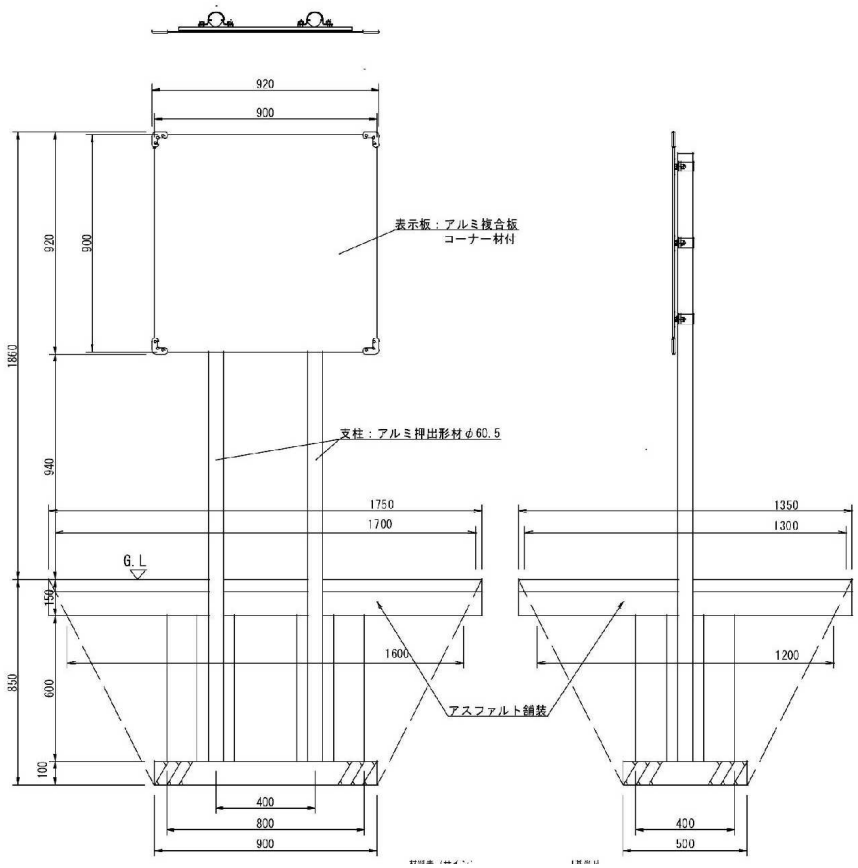


1基当たり

名 称 ／ 規 格	計　　算　　式	単位数量	延長 箇所	数 量
床掘	(0.4*0.5+0.8*0.9)/2*0.4	m3 0.184	箇所 2.0	m3 0.40
埋戻し	(0.4*0.5+0.8*0.9)/2*0.4-(0.4*0.5*0.1+0.3*0.4*0.2)	m3 0.140	箇所 2.0	m3 0.30
基礎砕石 RC-40,t=10cm	0.4*0.5	m2 0.200	箇所 2.0	m2 0.40
型枠	(0.3+0.4)*0.2*2	m2 0.280	箇所 2.0	m2 0.60
コンクリート 18-8-40BB	0.3*0.4*0.2	m3 0.024	箇所 2.0	m3 0.05
ベンチ		基 1.000	箇所 1.0	基 1.00

数 量 計 算 書

サイン　　N＝1基



1基当たり

名 称 ／ 規 格	計　　算　　式	単位数量	延長 箇所	数 量
舗装版切断	(1.75+1.35) *2	m 6.200	箇所 1.0	m 6.2
舗装版破砕	1.75*1.35	m2 2.363	箇所 1.0	m2 2.4
As殻	1.75*1.35*0.05	m3 0.155	箇所 1.0	m3 0.2
〃	1.75*1.35*0.05*2.35	t 0.364	箇所 1.0	t 0.4
床掘	(0.9*0.5+1.7*1.3)/2*0.80	m3 1.064	箇所 1.0	m3 1.00
埋戻し	(0.9*0.5+1.6*1.2)/2*0.70-(0.9*0.5*0.1+0.8*0.4*0.6)	m3 0.593	箇所 1.0	m3 0.60
サイン	1	基 1.000	箇所 1.0	基 1.0
路盤工 RM-30,t=10cm	1.75*1.35	m2 2.363	箇所 1.0	m2 2.4
表層工 再生密粒度As20,t=5cm	1.75*1.35	m2 2.363	箇所 1.0	m2 2.4

構造物撤去工　　数　量　集　計　表

名　　称	区　分	単位	数　量	備　　考
構造物取壊し工				
舗装版切断		m	6.2	サービス施設工数量計算より
舗装版破砕		m2	2.4	
運搬処理工				
殻運搬	As殻	m3	0.2	サイン
殻運搬	Co殻（無筋）	m3	0.00	転落防止柵Co削孔
殻処分	As殻	t	0.4	
殻処分	Co殻（無筋）	t	0.00	

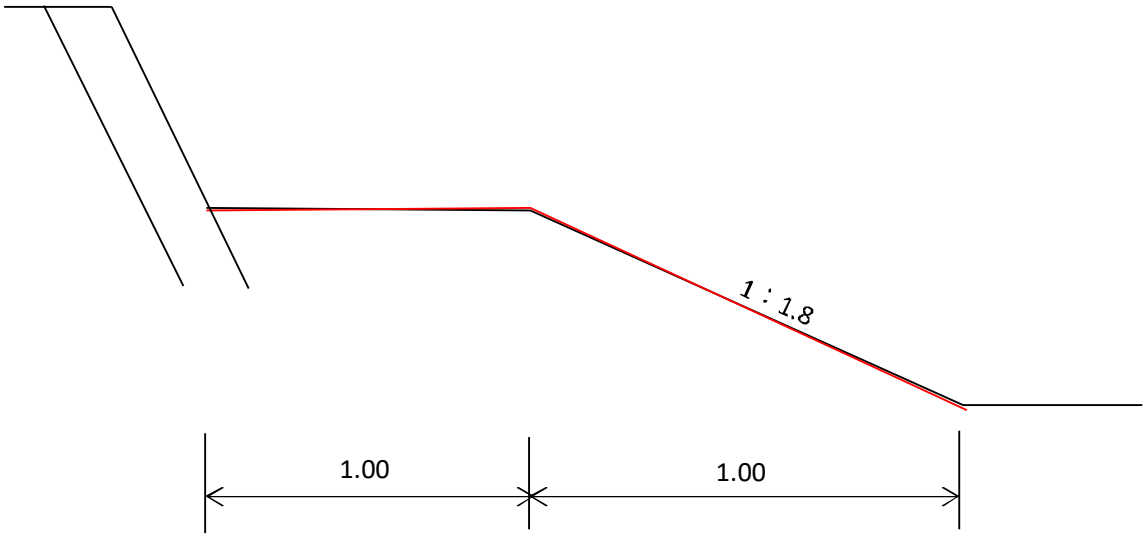
法面工

数 量 集 計 表

名　　称	区　分	単位	数　量	備　　考
法面管理工				
防草シート	二層構造,再生ポリエステル,厚４㎜	m2	65	防草シート数量計算より

数 量 計 算 書

防草シート　　L=64.7m



斜率＝√(1^2+1.8^2)＝2.059　　64.7m当り

名 称 ／ 規 格	計　　算　　式	単位数量	延長箇所	数 量
防草シート（平坦部）	1.0	m 1.00	m 64.7	m2 65
防草シート（法面部）	1.0/1.8*2.059	m 1.14	m 64.7	m2 74

舗装工

数 量 集 計 表

名　　称	区　分	単位	数　量	備　　考
アスファルト舗装工				
路盤	RM-30,t=10cm	m2	2	サインの数量計算より
表層	再生密粒度As20,t=5cm	m2	2	

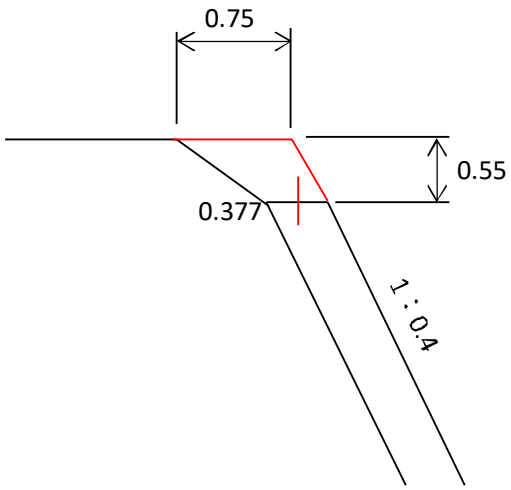
雑工

数 量 集 計 表

名　　称	区　分	単位	数　量	備　　考
雑工				
補強コンクリート		箇所	1	補強コンクリート数量計算より

数 量 計 算 書

補強コンクリート　N=1 (L＝5.00)



名 称 ／ 規 格	計　　算　　式	単位数量	延長 箇所	数 量
コンクリート削孔	1.0*15	孔 15	箇所 1.0	m2 15
差筋	0.3×0.995×15	t 0.004	箇所 1	t 0.004
型枠	0.55*1.077*5.0	m2 2.96	箇所 1	m2 2.96
コンクリート	(0.377+0.75)/2*0.55*5.0	m3 1.55	箇所 1	m3 1.55